

2019年3月12日
日興アセットマネジメント株式会社



エンジェルジャパン・アセットマネジメント*
運用チーム

日興グローイング・ベンチャーファンド

エンジェルジャパン宇佐美博高から 皆様へのメッセージ

右から 宇佐美代表取締役、内藤チーフインベストメントマネジャー、
金沢シニアインベストメントマネジャー、柳葉シニアインベストメントマネジャー、永嶋インベストメントマネジャー

*当ファンドの投資助言を行なう投資顧問会社です。

「エンジェルジャパン・アセットマネジメント」の投資哲学

- **経営者に対する『個別直接面談調査』**を徹底することで、**革新成長企業を厳選**します。
- **新興成長企業は判断が難しい**ため、**アナリスト経験豊かなチーム全員で一緒に面談し、投資判断も完全な合議制にて運営**しています。
- **IPO (株式の新規公開)のロードショー****で**ほとんど全ての企業と面談し、革新的な企業とはその後も定期的に面談**します。
- **組入企業を順次入れ替え、常に「今が旬」の「成長割安50社パッケージ」を維持**することをめざします。

**IPO前に行なわれる機関投資家向けの会社説明会

※上記「50社パッケージ」とは、50社程度という意味で使用しており、投資銘柄数を50社に限定するものではありません。

～株式市場が正常化する中で、個々の企業に注目を～

昨年末にかけて、わが国の株式市場は大きく調整しましたが、その後は戻り基調にあります。米中の経済摩擦激化、米国IT大手のスマートフォン販売の失速、半導体業界の調整局面入りなどの悪材料が重なり、極度に「懸念」が強まった局面から、企業の実体を冷静に見極める局面に移りつつあるようです。実際、3月期決算企業の第3四半期（10-12月期）決算がほぼ出揃いましたが、市場予想や会社計画を上回る好決算となった企業の株価は大きく上昇するケースが見受けられます。しかもこの傾向は第1四半期や第2四半期の決算発表時と比較して強まっており、市場が通常の動きに戻ってきていることを感じています。

全体の決算内容を見渡すと、自社努力で成長を続ける企業がある一方で、下方修正を発表する企業もあり、全体としてはやや下振れしている状況です。目立つところでは、電子部品や半導体関連の業績が下振れしていますが、昨年後半の市場環境の変化が決算に反映されてきているためと考えられます。その中でも好調な企業も見受けられ、企業間で差が現れてきています。

今後に向けて、自動車の電子化や次世代通信規格「5G」向け製品などに、既に舵を切っている企業も多く、競争力が高く中長期的な成長が見込まれる企業に対しては、むしろ投資の好機となりそうです。また、インバウンド向けの販売が停滞していることで、業績が下振れしているケースも見受けられます。こうした企業の今後を見るうえでは「自然災害の影響が一巡することで業績が再度伸びてくるのか」「中国人向けの販売ルートを中国国内ネット通販などで強化できるのか」などといった戦略が重要になり、個別企業毎に判断していく必要があります。

また、IPO（株式の新規公開）も引き続き活発です。2018年のIPO件数は90件と、2017年と同水準となりました。2019年1-3月のIPO件数も発表済みで21件（資料作成日時点）と、前年同期の16件を上回るペースのIPOが見込まれています。IPO件数はライブドアショック後は急減し、2009年には19件まで落ち込みましたが、その後は増加基調にあります。もちろんIPO企業は玉石混交で、上場がゴールとなってしまうような企業も見受けられますが、私達の見方では、5～6社に1社は上場をステップにして、知名度や信用力を高めて大きく伸びていくような革新的な高成長企業が存在しているという傾向も変わっていません。例えば、AI（人工知能）など最先端の技術に特化して事業展開している企業、独自のノウハウと技術力で全く新しいサービスを生み出していく企業など、経済環境に左右されずに成長を遂げていくことが期待できる企業も多く確認することができています。

2018年は、年間で1,036件の個別直接面談調査を実施しました。本年も1-3月では262社と、昨年を上回るペースで面談を実施する見込みです。引き続き経営者の方々への個別直接面談調査を通して、自らの強みに磨きをかけながら経営環境の変化に対応し、中長期的に成長を遂げていくような企業を積極的に厳選してまいります。

エンジェルジャパン・アセットマネジメント 宇佐美 博高

1976年一橋大学卒。静岡銀行、すみや電器を経て野村総合研究所入社。ディービー・モルガン・グレンフェル・アセットマネジメント（現ドイチェ・アセット・マネジメント）等株式運用責任者を歴任後、2002年エンジェルジャパン・アセットマネジメントを設立



ファンドの特色

1 高成長新興企業の株式に投資を行ない、信託財産の成長をめざします。

○主として、公開後5年以内のわが国の金融商品取引所上場株式の中から、革新的な高成長新興企業(=グローイング・ベンチャー)に投資を行ないます。

2 エンジェルジャパン・アセットマネジメントによる徹底したボトムアップ・リサーチにより有望企業を厳選します。

3 エンジェルジャパン・アセットマネジメントから投資助言を受けます。

お申込みに際しての留意事項

■ リスク情報

投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【未上場株式などの組入リスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■ その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

お 申 込 み メ モ

商品分類	追加型投信／国内／株式
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の基準価額
信託期間	2023年7月18日まで(2003年7月18日設定)
決算日	毎年7月17日(休業日の場合は翌営業日)
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。

手 数 料 等 の 概 要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	購入時の基準価額に対し <u>3.24%(税抜3%)以内</u> ※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産 留保額	換金時の基準価額に対し <u>0.5%</u>

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に対し <u>年率2.052%(税抜1.9%)</u>
その他の費用・ 手数料	監査費用、組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などが その都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することは できません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに
応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
投資顧問会社	エンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社
受託会社	野村信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ]www.nikkoam.com/ [コールセンター]0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会				
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○			
SMBG日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○			○
日産証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第131号	○		○	
碧海信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第66号	○			
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○		○	
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第181号	○	○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

(50音順、当資料作成日現在)